

伝承館取材を終えて

震災には多くの物語

佐藤 歌音



渡辺さんの震災の体験談をお聞きしました。「震災直後は何が起ったのか分からなかった。言葉にできない」と語り、強く印象に残りました。私は当時3歳でした。何が起きたのか

体験談取材が印象的

児玉 琴心



私は震災発生時、まだ赤ちゃんで、何も覚えていないけれど、恐ろしいことがあったんだなと改めて知りました。取材する中で、渡辺さんの体験や、アテンダントになったとき

大変な思いを追体験

清水 愛子



私は、渡辺さんが体験した避難先での出来事や、伝承館の展示物などを見て、今でも苦しい思いをしている人はいるのだなと思えました。「3・11」の映像を見て、避難先で差別やいじ

自分にできることを

神谷 実鈴



私は伝承館を取材して、改めて震災・原発事故の怖さについて知りました。館内には色々な人がそれぞれ体験したことや思ったこと、感じたことが、細かく展示されていました。

昔の原発事情に驚き

吉田 和叶



伝承館で驚いたことは、震災前は「原発は素晴らしい」という考えが地元の人にあったということです。今は悪いものと考えがちですが震災前は働き先が増えて地域が潤っていたそうで

OGの目 記録と記憶つなぐ場所



ジャーナリストスクールの卒業生として取材に同行し、東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れた。「3・11」から10年が経った。なぜだろう、これまで私は被災者の体験談を積極的に聞くことが少なかった。アテンダントを務める渡辺さんの被災から今までの経験談をつぶさに聴き、そして当時が蘇る展示の数々を見た時「恐ろしい」「苦しい」という感情が沸き起こった。津波で大きな被害があった

私たちが作りました

編集後記

お忙しい中、私たちの取材に協力いただいた渡辺さんをはじめ、東日本大震災・原子力災害伝承館の職員皆さま、ありがとうございました。おかげさまで実り多い貴重な体験となりました。(取材班2班一同)

